

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	14-082	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名</b>		
<p>Combined Effects of Smoking and Alcohol on Metabolic Syndrome: The Life Lines Cohort Study.</p> <p>ライフラインコホート研究：メタボリックシンドロームの喫煙やアルコールの複合的影響</p>		
<b>執筆者</b>		
<p>Slagter SN, van Vliet-Ostaptchouk JV, Vonk JM, Boezen HM, Dullaart RP, Kobold AC, Feskens EJ, van Beek AP, van der Klauw MM, Wolffenbuttel BH.</p>		
<b>掲載誌</b>		
<p>PLoS One. 2014;9(4):e96406. doi: 10.1371/journal.pone.0096406.</p>		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
喫煙、アルコール摂取、メタボリックシンドローム		24781037
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> メタボリックシンドローム (Mets) の発症は、喫煙やアルコール摂取など環境因子によって影響される。我々は、喫煙とアルコールの Mets とその個々の構成要素に及ぼす複合的な影響を研究した。</p> <p><b>方法：</b> ライフラインコホート研究の 18-80 才の 64,046 名の参加者は、それぞれの BMI によって BMI&lt;25：普通体重、BMI 25-30：過体重、BMI≥30 kg/m<sup>2</sup>：肥満と分類された。Mets は米国コレステロール教育プログラムの成人の治療パネルⅢ (NCEP ATP Ⅲ) で改定された基準値に従って定義された。それぞれの BMI のクラスと非喫煙者、喫煙経験者、1日にタバコ 20g 未満と 20g 以上(20 本以上に相当)で、アルコールと個々の Mets の構成要素の横断的な関係について回帰分析を使用し検討された。</p> <p><b>結果：</b> Mets の罹患率は、異なる喫煙とアルコールのサブグループの間で大きく (1.7-71.1%) 変化した。すべての飲酒者の HDL コレステロールのレベルは非飲酒者より(0.02 から 0.29 mmol/L, P 値&lt;0.001)高めだった。喫煙経験者もしくは、現在の喫煙者 (1日 20 未満および 20 g 以上)では、HDL コレステロールの値は低かった。1日 1 杯以下の飲酒は有意ではないが、中性脂肪が低い傾向を示した。一方で 1日 1 杯の飲酒と喫煙者では、より高い中性脂肪のレベルを示した。1日 2 杯までの飲酒は過体重と肥満者ではウェストサイズは小さく、1日に 2 杯以上のアルコール摂取では血圧を増加し、ヘビースモーカーで最も強い関係が見つかった。ワインを飲む人の全体的な代謝のプロフィールは、お酒を飲まない人もしくはビールや強い酒やカクテルを飲む人よりも良かった。</p> <p><b>結論：</b> 少量のアルコール摂取は Mets で喫煙の負の関係を和らげるかもしれない。我々の結果は、禁煙やアルコールの摂取量を 1日最大でも 1 杯までと力説する生活習慣のアドバイスがメタボリックシンドロームの罹患率を減らすための良いアプローチであることを示唆している。</p>		